

季節にあった行事食を提供しました

平成の森・川島病院



7月7日は七夕でした。織姫と彦星が一年に一度会えるこの日に願い事を五色の短冊に綴り、笹の葉に飾り付けるとても素敵な日です。皆さんは何かお願い事はしましたか？
栄養科ではこの日の昼食に行事食として、星形の人参とおくらを散らした七夕そうめんと星のコロッケ、胡瓜の酢の物、フルーツポンチを提供しました。またおやつにはメロンロールケーキとパースト食の方にお星さまゼリーを提供しました。



七夕を、おやつでは夏を感じられる献立となり、患者様にたいへん喜ばれました。今後も季節にあった行事食を提供していきたいと思います。

栄養科 野島 風我

精霊馬とは

平成の森・川島病院



お盆の時期になると、きゅうりやなすに割り箸を刺して作られた「精霊馬」が仏壇や精霊棚に並びます。これは、ご先祖様の魂を迎え、そして送り出すための乗り物として古くから伝わる日本の風習です。きゅうりの馬は“早く帰ってきてほしい”という願いを込めた乗り物、なすの牛は“ゆっくり戻ってほしい”という思いを込めた乗り物とされています。
お盆は、亡くなった人々の霊がこの世に戻ってくるとされる期間です。精霊馬はその道しるべとなり、家族がご先祖様を思い出し、感謝を捧げる象徴でもあります。素朴な野菜で作られるこの供え物には、自然への敬意と命の循環を感じさせる深い意味が込められています。

現代では、子どもたちが家庭や地域行事で精霊馬を作ることも多く、世代を超えて受け継がれる心温まる風習となっています。お盆の季節には、きゅうりとナスで精霊馬を作り、ご先祖様を迎える静かなひとときを過ごしてみたいと思います。

編集後記 まだ夏は始まったばかり

普段出不精でほとんど外出はしていないのですが、休みの日に用事が出来たため熱い中を歩き駅から電車に乗り乗り換えをして用事を済ませ戻ってきました。普通のことですが、普段休みはごろごろして過ごしている分夏の暑い日にはもう遠くまで出かけられないかもと思っていただけ普通に外に出てほっとしました。今年の夏も近所の夏祭りがあったのですが、結局行かずじまいでした。しかし、こういう記事を書くためにももっといろいろ興味を持って休みの日には出かけたほうが良かったと思います。まだまだ夏は始まったばかりなので近隣のお祭りにも行ってみようかと思います。

医事課 木村 清志

川島ロイヤル・ワム・タウン

 KAWAJIMA LOYAL WAM TOWN	平成の森・川島病院	電話 049 (297) 2811
	ロイヤルケアホーム川島(サービス付き高齢者向け住宅)	電話 049 (299) 0880
	訪問看護ステーション 平成の森	電話 049 (297) 8331
	介護老人保健施設 平成の森	電話 049 (297) 8808
	居宅介護支援事業所 きすな	電話 049 (297) 8797
	川島クリニック	電話 049 (297) 8783

地域の皆様と川島ロイヤル・ワム・タウンを結ぶ広報誌

ふれ愛

NO.
137
2026.8月号

<https://www.loyal-wam-town.jp/>

「夏の田圃と川島病院」

Contents

「七夕」

介護老人保健施設 平成の森

フラワーアレンジメントを開催しました

平成の森・川島病院

座席の配置を変更しました

介護老人保健施設 平成の森

川越百万灯祭り

平成の森・川島病院

2026年夏 リハビリテーション部園芸活動

平成の森・川島病院

季節にあった行事食を提供しました

平成の森・川島病院

精霊馬とは

平成の森・川島病院

「七夕」

介護老人保健施設 平成の森

七夕は古くから受け継がれている日本の伝統行事です。その由来は、中国の「七夕の節句」や、機織り・裁縫の上達を願う「乞巧奠」、牽牛・織姫の伝説に、日本古来の機織りの儀式や農業の節目を祝う神事が結びつき、現在の七夕行事として定着したといわれています。

通所リハビリでは、利用者様に短冊へ願い事を書いていただき、竹笹や壁面に飾り付けを行いました。また、折り紙を使って七夕飾りも制作しました。

制作の時間には、利用者様同士や職員とも七夕の思い出話に花が咲き、和やかな時間を過ごされました。その中でも、特に印象に残ったお話をいくつか紹介します。

「お寺がこうした行事を中心となって行ってくれて、子どもたちがたくさん集まり、みんなで飾り付けをしたよ。」
「マコモで馬を一对作って、向かい合わせに飾ったよ。」
「今と同じように、竹笹に願い事を書いた短冊を飾っていたよ。」

「いもの葉の雫で墨をすって書道をするとう字が上手になると言われていて、よくやったものだよ。」

「故郷では盛大な七夕祭りがあったけれど、8月7日に行われていたなあ。」

地域や家庭によって受け継がれてきた風習はさまざま、時代やその方の経験によっても七夕の思い出は異なります。利用者様のお話から、それぞれの地域に根付いた文化や暮らしに触れることができ、私たち職員にとっても多くの発見があった行事となりました。

介護福祉士 吉田 将輝



座席の配置を変更しました

介護老人保健施設 平成の森

通所リハビリテーションでは、ご利用様がより安全で快適に過ごせるよう、フロアのレイアウトを変更しました。今回の変更では、ご利用様の移動のしやすさや活動スペースの確保を考慮し、座席やテーブルの配置を見直しました。その結果、フロア全体が見渡しやすくなり、ご利用者様同士の交流が生まれやすい環境となっています。ご利用者様からは、「出入りがしやすくなった」「雰囲気が変わって過ごしやすい」といったお声をいただいています。今後も、ご利用者様一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

看護・介護部 桜井 知代



川越百万灯祭り

平成の森・川島病院



川越百万灯祭りは江戸時代後期が始まりとされる、色とりどりの提灯が彩る幻想的な光景が魅力の夏祭りです。屋台グルメやステージイベントも充実しています。今高校生の息子も小学生の頃から毎年ダンスイベントに参加しています。出番が終わった後にお友達と屋台をまわるのが楽しみなようです。また、オリジナルの提灯や紙芝居を自分で手作りすることができる体験型イベントもあり、夏休みの自由研究としても人気なようです。もちろん大人も楽しめるイベントもたくさんありますので、ぜひ夏の思い出作りに足を運んでみてください。

クラーク 平井 麻美

※記事掲載時点では、今年の川越百万灯祭りは終了しています。

フラワーアレンジメントを開催しました

平成の森・川島病院



初夏の訪れを感じる6月、病棟レクリエーションとしてフラワーアレンジメントを開催し、患者様約30名と御家族に御参加いただきました。色とりどりの花を自由に生けながら、参加者同士や御家族との会話も弾み、病棟が終始笑顔にあふれた温かい雰囲気に包まれました。完成した作品を嬉しそうに眺める姿も多く見られ、季節の花に親しみながら心豊かなひと時を過ごしていただきました。

1F病棟 八木下 昇子

2026年夏 リハビリテーション部園芸活動

平成の森・川島病院

当院のリハビリテーション部では、毎年夏と冬に季節に合わせた野菜を患者様と一緒に育てています。今回はきゅうりやトマト、ピーマンに加え、白ナスを育てています。例年は通常の紫ナスですが、白ナスにしたことで患者様がわくわくしている様子がみられました。地域柄、野菜を育てたことのある患者様が多く、5月の野菜の苗植えから様々なアドバイスをいただきました。ときには、水やりや剪定も一緒に行い、多くの野菜が立派に育っています。採った野菜で調理の練習をすることもあり、患者様の楽しみや活動に繋がっています。

今後も継続して、患者様の心身に寄り添えればと思います。

リハビリテーション部 大場 牧人

